

栃木県佐野市の総合事業について（コミュニティバス実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 本市は、平成17年2月に、佐野市、田沼町、葛生町の3市町が合併して誕生したが、旧田沼・葛生において運行していた町営バスを引き継いで運行していたため、特に、新市の南部地域、東部地域において公共交通空白地域が存在しており、効率的なバス交通網の整備が不十分な状況である。
- 鉄道は、JR両毛線と東武佐野線があるが東京方面のアクセスはあまり良くないため、高速バスの需要が増加している。
- バスは、民間路線が1路線、市営の自家用有償運行で7路線運行しているが、まだ公共交通空白地域が存在している。

活性化の目標・方向性

- コミュニティバス導入による公共交通空白地域の解消、乗合タクシーやデマンド運行の導入などによる運行方法の工夫や運行時間帯、頻度、運行経路等の工夫による利便性の向上を図る。
- 交通結節点における待合施設の充実と鉄道駅や高速バスターミナルと市営バス等との乗継ぎ利便性の向上を図る。
- 公共交通利用促進に向け、バスサポーター制度の導入やワークショップ、モビリティ・マネジメント等による意識改革と協働体制づくりの推進を図る。
- 中心市街地の商店会等との連携強化などにより公共交通を利用した地域活性化を図る。

実施する事業の内容

○佐野市コミュニティバス実証運行事業（平成20年10月～平成22年度）

- ◆ルート
 - ・基幹線：葛の里沓番館～佐野新都市バスターミナル（10往復20便）
 - ・野上線：田沼庁舎～蓬山カトリック（6往復12便）
 - （便数）
 - ・秋山線：市営バス車庫～木浦原（一部デマンド）（6往復12便）
 - ・飛駒線：田沼庁舎～寺沢入口（6往復12便）
 - ・仙波会沢線：大釜～市営バス車庫～会沢小室（フルデマンド：8便）
 - ・足利線：下彦間明神前～東武足利市駅（4往復8便）
 - ・名水赤見線：佐野駅～赤見地区（循環線：10便）

◆運賃 300円均一（乗継ぎ100円）（小人半額）

◆小型車両の検討・導入（15人乗りワゴン車等）

○利用促進方策（平成20年度～平成22年度）

- ◆バスサポーターズクラブの導入、地元商工会や他の交通機関などと連携した利用促進活動
- ◆市広報、HPによる情報提供、利用者に配慮したパンフレット作成
- ◆利便性向上に向けた運行経路、時刻表の見直しを行うための調査事業

栃木県佐野市 : 総合事業の実施区域

